

TSR評点とは

企業信用調査を通じて以下のようなデータを収集します。

- ・会社の特徴(沿革、事業内容、事業計画、従業員数、事業所など)
- ・業績(売上、利益、今後の見通しなど)
- ・財務内容(資産、負債の状況など)
- ・経営者(経歴、経営方針など)

これらを基に総合的に算出したのが「TSR評点」(100点満点)です。

大きく「経営者能力」「企業成長性」「企業安定性」「公開性・総合世評」に分かれ、更に各々の分野で配点が細かく設定されています。

会社の数ってどれくらいあるの？

「家族や知人が働いている会社」「CMやネットで見かける会社」「近所の会社」など、皆さんが知っている会社は何社くらいありますか。

税務統計上では日本全国には約307万社の会社があります。TSRが保有する企業データベース上では従業員100名以上の会社だけでも全国で46,897社、岡山県652社、広島県985社、山口県417社、中国地区全体では2,460社が登録されています。また、日本の上場会社が3,647社ですから、世の中の殆どの企業は非上場会社ということになります。現代における産業は、細分化され複雑に絡み合い、「ある製品の特定の重要部分だけを作る会社」「その会社しかできない特殊なサービス」など知名度は低いものの、独自の地位を確立している会社も数多くあります。そういった多くの会社では今後の成長のため人材は必要なものの、「なかなか学生に振り向いてもらえない」、「存在に気付いてもらえない」という現状があります。

Aランク企業

本誌では評点55点以上の会社を「Aランク企業」として認定しています。

TSRが信用調査などを通じて収集し、提供する全国の企業データは約520万件に及び、評点付与先のうち55点以上の会社は全体の8.4%しかありません。本誌で紹介する会社はその基準をクリアした会社ですから、「日本企業の上位8.4%にランクインする企業」ということになります。

